

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***Comet Ikeya-Everhart (1966D) の Plate 収蔵**

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台の旧図書館(昭和5年(1930年)建設)の1階に保管されている古い天体写真乾板等の整理を進めている。この作業の一環の中から昭和20年2月の本館消失で失われたと思われていた100年以上前に撮影された写真乾板が発見され、日本人最初の小惑星発見の写真乾板が出てくるという大発見もあった。天体写真乾板の整理は佐々木君、大島君が進めており、筆者はこの物置状態の棚から確たる資料とも思えない雑物の整理を引き受けている。今回は $\gamma=1966D$ Ikeya-Everhartと書かれた箱(写真1)の中の本田実氏の写真乾板2枚を収蔵した。



写真1 今回整理の箱

この箱には、Hd 28、29 Honda Plate と書かれている。我々天文関係者は名前を本田なら Hd、中桐なら Nk などのように略して書く場合が多い。この Hd28、29 は本田さんの Plate 番号 28、29 ということだと思う。Plate の袋にはメモ書きがあり、

- 1) Hd28 1966d イケヤ・エバーハート 1966.9.14 19h34m10s-19h43, 10s
- 2) Hd29 彗星 1966d Ikeya 1966.9.14 19h45m10s-19h51m10s

と書かれている。1966年9月14日に撮影された Plate ということである。

メモ書きの写真が、写真2、3である。

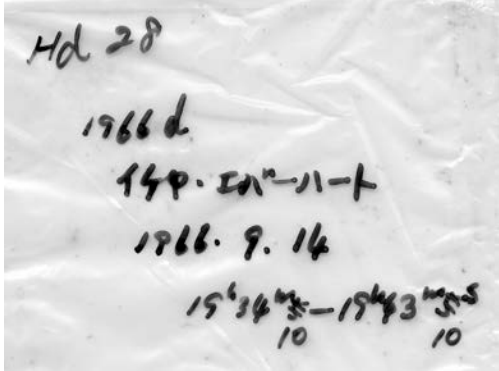


写真2 メモ

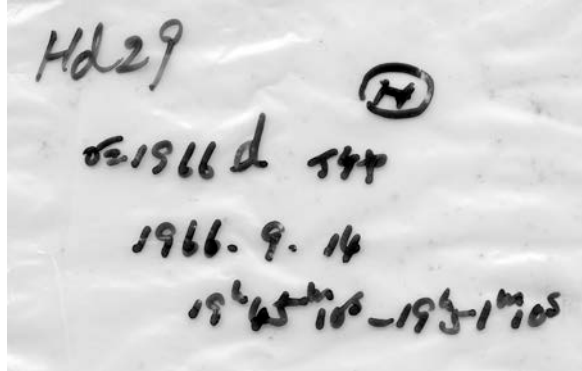


写真3

写真4がHd28、写真5が拡大写真である。

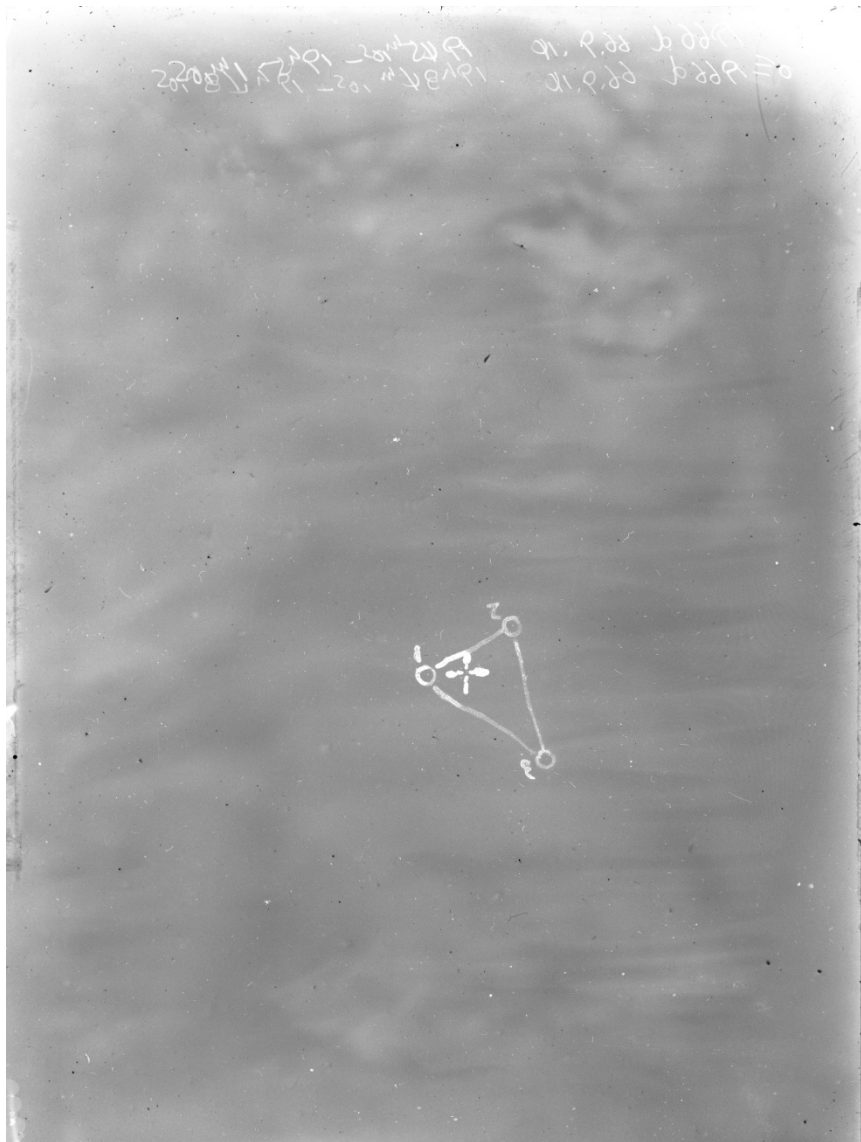


写真4 HD 28

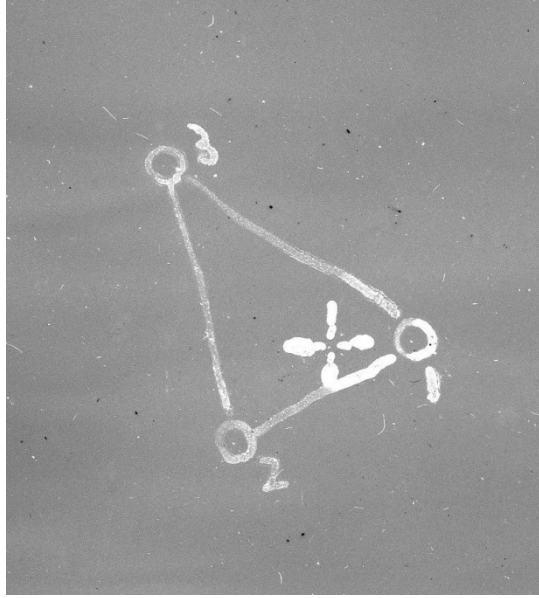


写真 4 HD28 の拡大写真



写真 5 Hd29

写真5がHd29である。このPlateは膜面がかなり剥れていて状態は良くない。このPlateはもはや使い物にはならない。このHd29を拡大したものが写真6である。



写真6 Hd29の拡大写真

写真6では、ちょうど膜面の破れの中かも知れないが印の中に彗星の像は認められない。このように同じ日に撮影された写真乾板で、同じように保存されたもので膜面の状態がこれほど差が出ることもある。現像後の処理が不十分だったかもしれない。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp